

5月号（平成28年）

5月はゴールデンウィークがありました。今年は、月曜と金曜日に授業日があったのですが、結構ゆっくりできた人も多かったのではないのでしょうか。この連休が明けてから、きちんと登校できるかが、学校生活のひとつめの山場になりますが、一人ひとりの生徒にきめこまやかに対応していきたいと思っています。

4月の生徒たちの出席率は、9割弱という定時制課程の学校では、とても高いものでした。特に1年生は、ほとんどの生徒が毎日登校しています。他校の定時制でも似たような傾向だそうで、新入学生は少なかったのですが、今年の生徒の傾向なのかも知れません。本校では、生徒会のあいさつ運動以外にも教員が毎日、登校時と下校時に校門に立っており、あいさつをしています。今年は5時半くらいから登校する生徒も多く校門付近であいさつをして、先生と近況や学校生活について会話をしたりしています。私も出張がない日などは必ず校門に立つようにしており、生徒と話をするようにしています。連休明けから、少し休みが目立ちはじめ心配していましたが、学校生活に慣れてきたのか5月下旬にはもちなおして、多くの生徒が元気に登校してくれています。スポーツテストや人権学習などの行事もあり、この5月が終われば、いよいよ前期の中間考査です。生徒のみんなが頑張ってくれているのがとても嬉しく思います。

こうして登校してくる定時制の生徒を見てみると、心配になることがひとつあります。それは、きちんと食事をしているのか？ということです。登校してくる自転車の前かごには、ジュースとスナック菓子が入っていることも珍しくありません。聞いてみると、仕事やアルバイトが終わってから、登校の途中のコンビニに立ち寄るそうで、ごはんを家でも食べることは少ないそうです。食育や健康についての定期的に指導をしているのですが、習慣はなかなか変えられそうにありません。今年は、PTAと協力して重点的に食育の指導をしていきたいと思っています。まず、バランスのよい食品を食べること。そして睡眠などの休息。これが登校に繋がるとしています。本校では、できることから取り組んでいきたいと思っています。

成城高校には、いろんな樹木があります。中庭の桜やエノキ、ケヤキなどは開校当時に植えられたことから、とても大きくなっているものがあります。特に、校門の横の桜の木は、とても大きく入学式の頃に満開になり、とても見応えがあります。校門の横にあることから本校のシンボルツリーになっています。10周年の記念誌を見てみると、すでに植えられていることが伺えます。今年度は、この桜の木のそばに生徒の憩いの場になるためにピロティが整備されました。広場になったため、桜の木が目立つようになりましたが開校以来から桜の木はずっと変わらず、正門の横から登校してくる本校の生徒たちを見ているようです。毎年、生徒たちは変わっていきませんが、きっと一人ひとりの生徒の成長を喜んでくれているのだらうと思います。

今月も最後までお読みいただきましてありがとうございました。

成城高校定時制校長 富田公一（とだこういち）